

1 2. 令和 5 年度 神奈川県てんかん地域診療連携体制整備事業活動報告

聖マリアンナ医科大学病院 てんかんセンター
顧問 山本 仁 副センター長 太組 一朗

1. 神奈川県てんかん支援拠点病院としての取り組み

神奈川県支援拠点病院では、令和 5 年度も引き続き難治てんかん患者への高度な治療の提供、複数科からなる包括的な医療の体制の整備、専門医・コメディカルの育成等を行ってきた。また、拠点病院を中心として、てんかん診療に関わる医師、政令市代表、精神保健福祉センター、医師会、労働局、SW、患者、家族等をメンバーとしたてんかん医療・社会連携協議会を運営し、県民に向けて普及啓発活動や医療、福祉関係者への研修等を行ってきた。ホームページや行政の広報、新聞等のメディアを通じて、拠点事業やてんかんセンターに関する情報発信にも力を入れている。今年度から包括的てんかん専門医療施設に認定され、引き続き神奈川県てんかん診療の拠点施設としての役割を担っていく。

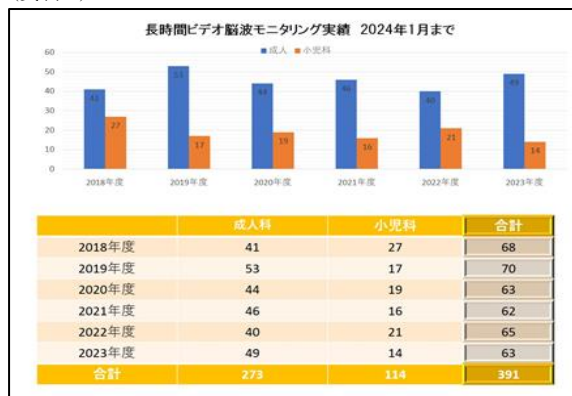
2. 支援拠点病院診療実績

てんかん外科手術：2018 年度 45 件、2019 年度 45 件、2020 年度 33 件、2021 年度 44 件、2022 年度 29 件。内訳は（資料 1）。長時間ビデオ脳波モニタリング：2018 年度 68 件、2019 年度 70 件、2020 年度 63 件、2021 年度 62 件、2022 年度 65 件。（資料 2）。今年度は 2 月までで、てんかん外科手術 29 件、長時間ビデオ脳波モニタリング 件となっている。てんかん外科手術、長時間ビデオ脳波モニタリング共に年間を通してコンスタントに実施している。てんかん受診外来患者数（延べ人数）：2018 年度 17,126 人、2019 年度 16,354 人、2020 年度 14658 人、2021 年度 15950 人。入院患者数（延べ人数）：2018 年度 358 人、2019 年度 485 人、2020 年度 407 人、2021 年度 433 人。紹介件数：2018 年度 422 件、2019 年度 442 件、2020 年度 420 件、2021 年度 462 件。2020 年度はコロナの影響で患者数、紹介数が減少していたが、2021 年度以降は増加している。紹介患者に関しては、川崎市、横浜市からが多数を占めるが、横浜市、川崎市以外の地域からの割合も増加傾向にある。紹介元の医療機関数は 2018 年度の 255 施設を起点として 2019 年度には 168 施設増加、2020 年度には 135 施設増加、2021 年度には 102 の新たな施設から紹介があり、4 年間で延べ 648 施設となっている。てんかん診療支援コーディネーターが担当しているてんかん相談件数については 2018 年度 100 件、2019 年度 275 件、2020 年度 180 件、2021 年度は 207 件となっている。今年度は 1 月までで前年度を上回る相談件数があり、支援拠点病院の相談窓口の認知が広がっている。てんかん相談窓口はインターネットで情報を公開しているため、相談者の居住地域は広範囲にわたり、県外からの相談も多い。

(資料 1)



(資料 2)



神奈川県では、例年通り年2回の「てんかんの研修会・市民公開講座」を実施しており、1回目は11月23日に実施済みで、2回目は3月10日に実施する。市民公開講座はZoomウェビナーを使用したオンライン形式とした。また、YouTubeを使用し、オンデマンド視聴も可能にした。今年度1回目の「てんかんの研修会・市民公開講座」では、主に就労をテーマに講演を行った(資料3)。専門医の講演に加え、医療機関で実際に働いててんかん患者当事者が講演を行い、視聴者からは大きな反響があった。3月には2回目の「てんかんの研修会・市民公開講座」の実施を予定しており、「小児てんかん」をテーマとしたプログラムを組んでいる。(資料4) また、毎年実施しているパープルデーライトアップについても、3月に例年通り行う予定となっている。(資料5) 県内7施設での実施を予定しており、こちらもYouTubeを活用した、映像の配信を行う。協議会で公式エックス(旧Twitter)アカウントを作成しており、随時最新情報の発信を行っている。パープルデーの写真を撮影して、エックスで投稿してもらい、パープルデーを盛り上げるよう、呼びかけている。

(資料3)

てんかんの研修会・市民公開講座
2023.11.23 13:00-17:00 (木・祝)
【同時開催】難治てんかん患者さん個別相談会
Zoomウェビナー・オンライン開催・オンデマンド配信有
※各講演時間内は同時進行して行われます。また、任意で参加いただけます。

研修会
1. 「てんかんのある方の社会との関わり合い」
～就職、結婚、家庭生活、友人付き合い等、病者ごとの課題の検討～
13:00～15:40 質疑応答 13:40～13:50
座長：大塚 一朗先生 講師：原 恵子先生
聖マリアンナ医科大学看護学部 准教授 聖マリアンナ医科大学 院長

2. 「てんかんの最新治療」
13:55～14:35 質疑応答 14:35～14:45
座長：山本 仁先生 講師：大塚 一朗先生
聖マリアンナ医科大学小児科 教授 聖マリアンナ医科大学 小児科センター 部長
聖マリアンナ医科大学小児科 教授 聖マリアンナ医科大学 小児科センター 部長

公開講座
1. 「てんかんと就労」
15:00～15:45
座長：大塚 一朗先生 講師：寺田 清人先生
聖マリアンナ医科大学看護学部 准教授 聖マリアンナ医科大学 小児科センター 部長
2. 「てんかんがあっても働きたい」
～発症後の経験と伝えたい～
15:50～16:20
座長：殿塚 正博先生 講師：野原 江里氏
平安病院 精神科 院長 聖マリアンナ医科大学 小児科センター 部長
3. 「てんかんと就労を考えるシンポジウム」
16:25～17:00
公開講座の最長の先生、講師の先生方が、参加者の疑問に回答し、意見交換を行います

申し込み 専用QRコードからアクセスしてお申し込みください
【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学てんかんセンター
電話：044-977-8111 (内線80605)
メール：tenkankouza3@gmail.com 担当：石丸(月～金)：00～17:00(土日祝を除く)

開催にあたって てんかん専門医による難治てんかん患者さんへの個別相談会を開催いたします
てんかん専門医による難治てんかん患者さんへの個別相談会を開催いたします
【申し込み】専用QRコードからアクセスしてお申し込みください
【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学てんかんセンター
電話：044-977-8111 (内線80605)
メール：tenkankouza3@gmail.com 担当：石丸(月～金)：00～17:00(土日祝を除く)

(資料4)

てんかんの研修会 市民公開講座
2024.3.10(日) 13:00～15:15
Zoomウェビナー・オンライン開催・要申し込み・参加無料
オンデマンド配信実施予定(申込者限定)

【研修会】 13:00～13:50 質疑応答10分
※医療関係者を対象とした内容ですが、どなたでもご参加いただけます
小児てんかん及びてんかん症候群の新たな分類について
座長：宮本 雄平先生 (聖マリアンナ医科大学小児科教授 聖マリアンナ医科大学 小児科センター 部長)
講師：日暮 重雄先生 (東京医歯薬大学小児科 教授)

【公開講座】 14:15～15:05 質疑応答10分
熱性けいれんの予防、小児のてんかんについて
座長：日暮 重雄先生 (東京医歯薬大学小児科 教授)
講師：宮本 雄平先生 (聖マリアンナ医科大学小児科教授 聖マリアンナ医科大学 小児科センター 部長)

【申し込み】専用QRコードからアクセスしてお申し込みください
【お問い合わせ】 聖マリアンナ医科大学てんかんセンター
電話：044-977-8111 (内線80605)
メール：tenkankouza3@gmail.com 担当：石丸(月～金)：00～17:00(土日祝を除く)

難治てんかん患者さん個別相談会を実施します
てんかん専門医による難治てんかん患者さんへの個別相談会を開催いたします
【申し込み】専用QRコードからアクセスしてお申し込みください
【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学てんかんセンター
電話：044-977-8111 (内線80605)
メール：tenkankouza3@gmail.com 担当：石丸(月～金)：00～17:00(土日祝を除く)

(資料5)

PURPLE DAY 2024
SNSで盛り上げよう!

Light up project in Kanagawa 2024 3.19～26
【点灯日・時間】
1. 県の県庁 3/19～27 日没から日の出まで
2. 神奈川県庁 3/19～26 18時半～20時半
3. 女神橋 3/19～3/27 日没から日の出まで
4. 横浜市港都記念会館 3/19～3/26 日没～22時
5. 江の島シーサイド 3/25～26日～22時
6. 大和町青年センター 3/19～20日
7. 川崎マリテ3/19～26日没～21時

3月26日はてんかんの啓発キャンペーン「1(ブルーデー)です」
神奈川県内の施設をライトアップしててんかんの啓発を行います
【申し込み】専用QRコードからアクセスしてお申し込みください
【お問い合わせ】聖マリアンナ医科大学てんかんセンター
電話：044-977-8111 (内線80605)
メール：tenkankouza3@gmail.com 担当：石丸(月～金)：00～17:00(土日祝を除く)

4. 協議会

てんかん診療に関わる医師、県、政令市の代表、精神保健福祉センター、医師会、労働局、SW、患者、家族等をメンバーとしたてんかん医療・社会連携協議会を年2回実施している。(表1) 今年度は8月に行い2回目は年度末の3月に実施を予定している。協議会では事業の実施計画や報告、啓発の方向性や、県内でのてんかん診療連携の問題点等、様々な議題を取り扱っている。ここ2年ほどはZoomを使用しオンラインで会議を行っている。協議会のメンバーに県や政令市の担当課長や労働局の担当者等が加わっていることで、行政の協力が得やすい点は、本事業における最大のメリットであり、利点を生かして今後も事業を進めていく。

5. その他取り組み

てんかん診療支援拠点機関の役割として、複数診療科、多職種による包括診療を行う環境整備が求められており、当院では医師、看護師、メディカル等多職種をメンバーとするてんかんセンター運営委員会を年3回開催している。また、複数科の医師、メディカルが参加するてんかん症例カンファレンスを週1回実施しており、今年度てんかん症例に関するカンファレンスは2月までで37回ほど実施された。参加者は現在10施設、延べ55名程となっており、てんかん診療に関わる複数科の医師らが集まり、意見交換やスキルアップを行う場を設けている。

また、研究活動も積極的に実施しており、令和5年度は厚生労働省障害福祉総合推進事業「てんかん診療拠点病院等における心因性非てんかん性発作等の実態把握」を実施している。

4. 今後の課題

神奈川県は人口922万人に比して専門医の数は少なくかつ偏在しており、未だ県内でのてんかん医療の均てん化には課題を残している。また神奈川県内の専門医の診療科は53名中小児科34名、脳神経外科7名、脳神経内科8名、精神科4名と偏りがあり、大人を診る専門医の数は特に少ない。

横浜、川崎地区から離れた県央、県北、湘南地区からの相談は多く、今

後も引き続き県内の医療連携体制の構築に力をいれ、てんかん患者が適切な医療を等しく受けられるような環境を検討し整備していく必要がある。

(表1)

てんかん医療・社会連携協議会構成

		所属先・推薦団体等	役職（職種等）
1	拠点機関	聖マリアンナ医科大学病院	特任教授・小児科 てんかんセンター 顧問
2		聖マリアンナ医科大学病院	准教授・脳神経外科 てんかんセンター副センター長
3		聖マリアンナ医科大学病院	主任教授・小児科 てんかんセンター センター長
4		聖マリアンナ医科大学病院	主任教授・脳神経内科 てんかんセンター 副センター長
5		聖マリアンナ医科大学病院	准教授
6	てんかん治療に関わる医療従事者	川崎市立多摩病院	教授・小児科部長
7		日本医科大学武蔵小杉病院	病院教授・精神科
8		神奈川県立こども医療センター	神経内科部長
9		重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎	副施設長・小児科
10		横浜医療福祉センター港南	診療支援部長
11		横浜市立大学附属病院	主任教授 神経内科学・脳卒中医学 神経内科・脳卒中科部長
12		てんかんと発達の横浜みのる 神経クリニック	院長
13		北里大学病院	講師・小児科
14		原クリニック	院長
15		東海大学医学部付属病院	講師・脳神経内科
16	地域医療	神奈川県医師会	理事
17	労働問題	神奈川労働局 職業対策課	地方障害者雇用担当官
18	社会福祉	てんかん診療支援コーディネーター (聖マリアンナ医科大学病院)	社会福祉士
19	当事者、家族	日本てんかん協会	当事者
20		日本てんかん協会	家族
21	〔精神保健福祉センター、県政令市、保健所代表を含む〕	神奈川県健康医療局保健医療部	精神保健医療担当課長
22		川崎市総合リハビリテーション推進センター	所長
23		川崎市健康福祉局障害保健福祉部精神保健課	課長
24		横浜市健康福祉局障害福祉保健部 精神保健福祉課	課長
25		相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部 精神保健福祉課	課長